



第24週10月4日(晴れ)

東名グラウンドグランド

第1試合【3回戦】浜翔2勝1敗

浜翔、首位浜友とのゲーム差縮める

	(2)	(2)	(0)	(0)	(2)	(2)	計	安打
浜風	0	0	0	0	1	1	2	(8)
浜翔	0	0	0	0	3	X	3	(5)
	(1)	(1)	(0)	(0)	(3)	(0)		

【勝】柴田 6勝 4敗(3)
【敗】川崎 2勝 5敗(2)

MVP: 竹内 V打点: 高橋信
三塁打: 増田(浜風)



反撃の口火となるタイムリー(竹内)

浜翔				浜風							
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率
6	入江	2	1		.405	2	犬塚	2			.344
5	後藤	2			.276	8	菅	2	1		.200
1	柴田	1			.448	3	中路	2	1		.400
2	石川誠	1			.280	7	亀田宏	1			.448
9	天城	2			.323	1	川崎	2			.240
8	竹内	2	2	1	.400	9	増田	2	1		.269
4	三輪	2			.250	4	川崎J	2	1		.333
7	市之瀬	2	1		.267	D	柳本	2	1		.294
3	高橋信	2	1	2	.214	D	太刀岡	2	1		.190
D	西岸	2			.136	D	日高	1			.000
D	丸山	1			.000	5	山下	2	1		.200
						D	小林正	1			.174
						6	樋高	2			.095
						D	丸木	2	1	1	.100
チーム計		19	5	3	.263	チーム計		25	8	1	.320

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点	投手	回数	安打	四球	三振	失点
柴田	6	8	3	3	2	川崎	5	5	3	3	3
チーム計	6	8	3	3	2	チーム計	5	5	3	3	3

首位浜友と1.5ゲーム差の2位浜翔、Aクラス復帰を狙う浜風の1戦。浜風先発の川崎は、4回を2安打無失点と好投。対する浜翔柴田も、初回のピンチを切り抜けると4回まで4安打0失点。この展開に、両投手共続投を選択、ここから試合が動く。5回表、2死者無から増田が左中間三塁打と敵失で浜風先制。だがその裏、人間ドッグ受診後の石川誠が四球、二盗後、竹内の右前適時打で同点に追い付く。さらに失策、安打で満塁のチャンスに高橋信の適時2点打で浜翔勝ち越し。6回表、浜翔は2死一・二塁で丸木81歳適時打等で1点返し更に一・二塁。打順がトップに返り長打で逆転の場面で犬塚を打席に迎える。柴田が最後のチカラと声を振り絞り投球、観客が固唾を呑む。カウント3-2運命の一球かと思いきや二走が大チョンボのフライングスタートで憤死、試合終了。浜翔が辛勝し、浜友との勝ち点差を1とした。尚、この試合のMVPは反撃の狼煙となる同点適時打を放った竹内が選出された。(湘南・山脇)

第2試合【2回戦】湘南2勝

新垣、秋の青空に吸い込まれる中越え2ランでMVP

	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)	計	安打
港南	0	0	0	0	1	1	2	(4)
湘南	1	1	0	4	0	X	6	(4)
	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(0)		

【勝】大川 4勝 5敗(4)
【敗】佐久川 3勝 2敗(1)

MVP: 新垣 V打点: 与儀
本塁打: 新垣2号(湘南)
二塁打: 堀内・野地(港南)・神田(湘南)



中越え2ランHR(新垣)

湘南				港南							
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率
6	山脇	3			.273	1	佐久川	2			.417
9	与儀	1		1	.391	7	高木浩	1			.483
3	新垣	2	1	2	.529	2	土門	2	1		.379
5	古山	1			.357	5	高木	2			.281
2	神田	2	1	1	.273	8	尾野	2			.344
8	渡部	1			.217	4	軽部	2	1	1	.357
4	伊藤重	2	1		.417	6	岩田	2			.206
7	高島	1	1	1	.185	3	堀内	2	1		.231
D	岡崎	2			.192	9	野地	2	1	1	.222
D	佐藤隆	1		1	.095	D	田中公	2			.174
D	弘中	2			.000	D	佐々木	2			.067
1	大川	1			.095	D	館	1			.000
						D	石川光	2			.409
チーム計		19	4	6	.211	チーム計		24	4	2	.167

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点	投手	回数	安打	四球	三振	失点
大川	4	1		2		佐久川	3	3	4	3	5
古山	2	3	1	1	2	高木	2	1	2	1	1
チーム計	6	4	1	3	2	チーム計	5	4	6	4	6

先攻の港南は、4回まで土門の内野安打、堀内の敵失出塁のみと、湘南大川の投球術に翻弄される。一方の湘南は初回、先頭山脇が振り逃げ後、盗塁と暴投で三塁まで進むと、続く与儀の三ゴロの間に幸先よく先制、2回にも先頭神田が左中間二塁打で出塁すると、下位打線でこれを返してじわじわとリードを広げる。港南の佐久川は、3回は三者凡退におさえたが、4回に突如のスタミナ切れ?この回先頭の与儀に四球、続く新垣に中越え2ランを浴びてしまう。さらに古山にも四球を与えたところで3回0/3で2番手高木義に交代。湘南は高島の適時打などでさらに2点を追加して勝利を引き寄せる。なんとかしたい港南は湘南二番手の古山から、5回に軽部の適時打で1点、6回にも堀内、野地の連続二塁打で1点を返すが、6回の攻撃が終わったところで時間切れ、試合終了となった。この試合では初回到港南・高木浩が中堅と交錯して負傷、途中退場となった。軽症、早期回復をお祈りします。殊勲選手は中越え2ランの新垣。(浜風・小林正)

